

受験番号			
------	--	--	--

令和4年度
鹿児島県職員採用試験（民間企業等職務経験者対象）
第1次試験

専門試験

〔解答時間 2時間〕

試験区分	農業
------	----

- ※ 試験問題には、「選択科目」と「必須科目」があります。
- ※ 答案用紙は科目ごとに別にすること。

＜選択科目＞

作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥料学のうちから、
2科目選択（選択した科目は全問解答）すること。

【科目：作物学】

- ※ 全問解答すること。
- 1 鹿児島県の水稻栽培で6月中下旬に苗を移植する普通期栽培において、栽培期間の気象条件から、栽培する水稻品種に求められる特性について述べなさい。
 - 2 次の事項について説明しなさい。
 - (1) 米の食味官能試験
 - (2) 葉緑体
 - (3) 水田雑草
 - (4) 栄養繁殖性植物

【科目：園芸学】

- ※ 全問解答すること。
- 1 園芸作物の中には、同じ作物を同じ畠で続けて栽培すると連作障害が発生する場合がある。この連作障害が発生しやすい園芸作物にはどのようなものがあるか、また、これを回避するために、生産現場ではどのような対策を講ずる必要があるか、事例を挙げて述べなさい。
 - 2 次の事項について説明しなさい。
 - (1) 光合成
 - (2) 枝変わり
 - (3) 休眠打破
 - (4) 頂芽優勢

【科目：育種遺伝学】

※ 全問解答すること。

- 1 栽培植物の育種には長い年月が必要とされている。そこで、育種年限を短縮する方法について具体的に述べるとともに、その利点と注意すべき点について述べなさい。
- 2 次の事項について説明しなさい。
 - (1) 量的形質の遺伝
 - (2) mRNA (メッセンジャーRNA)
 - (3) 自殖弱勢
 - (4) 分離の法則

【科目：植物病理学】

※ 全問解答すること。

- 1 農作物の生産において、化学農薬の使用を極力減らす病害虫防除法が求められている。そこで、植物病害の事例を1つ挙げ、その病原体と防除対策について、化学農薬を減らす観点を踏まえて述べなさい。
- 2 次の事項について説明しなさい。
 - (1) 病気の三角形
 - (2) トマト黄化葉巻病
 - (3) 付着器
 - (4) 温湯消毒法

【科目：昆虫学】

※ 全問解答すること。

- 1 農作物に対して、複数の異なる種の害虫が加害する事例について、具体的な作物名とそれを加害する害虫を2種挙げ、その害虫の特徴と防除法について、IPMの観点を踏まえてそれぞれ述べなさい。
- 2 次の事項について説明しなさい。
 - (1) 相変異
 - (2) 昆虫病原ウイルス
 - (3) 放飼増強法
 - (4) 要防除水準

【科目：土壤肥料学】

※ 全問解答すること。

- 1 土壤の物理的性質のうち、三相分布についてそれぞれ述べるとともに、作物生産上における役割及び改良法について述べなさい。
- 2 次の事項について説明しなさい。
 - (1) く溶性リン酸
 - (2) 土壤貫入抵抗
 - (3) アルカリ土壤
 - (4) 腐植

＜必 須 科 目＞

全員回答すること。

【科目：農業政策に関する論文】

国は、「食料・農業・農村基本計画（令和2年3月策定）」の中で、農村の振興に当たっては、①生産基盤の強化による収益力の向上等を図り農業を活性化することや、農村の多様な地域資源と他分野との組み合わせによって新たな価値を創出し所得と雇用機会を確保すること、②中山間地域をはじめとした農村に人が住み続けるための条件を整備すること、③農村への国民の関心を高め、農村を広域的に支える新たな動きや活力を生み出していくことが重要であるとしています。

そこで、地域資源を活用した所得の向上や雇用機会の確保を図るなど、本県の農村、特に中山間地域が今後も維持・発展していくためには、具体的にどのような取組を推進する必要があるか、あなたの考えを述べなさい。